

外国にルーツをもつ子どもの日本語支援のために――

「絵本で教える にほんご」

絵本は、子どもたちが ゆたかな日本語に楽しく出会う、とても魅力的なツールです。
外国につながる子どもへの日本語指導においては 絵本をどのように活用できるでしょうか。
実際に 講師おすすめの絵本を手にとりながら、みんなで一緒に考えてみませんか？

日時： 令和5(2023)年 7月23日(日)

13:30~16:00 (開場 13:00) ※裏面プログラム参照

会場： 大阪市立中央図書館 5階 中会議室

講師： 野呂 きくえ さん (日本語教師)

※プロフィールは裏面

対象： 外国ルーツの子どもに日本語を教えている方、
または支援に関わっている方

定員： 40名(事前申込み先着順) ※参加無料

申込方法： 下記の大阪市立図書館ホームページ内、

申込フォームよりお申し込みください。



https://www.oml.city.osaka.lg.jp/index.php?key=joldo0mwv-510#_510

※いただいた個人情報は、個人情報保護法ならびに大阪市個人情報保護条例に基づいて取り扱い、事業終了後速やかに破棄いたします。

共催： NPO 法人おおさかこども多文化センター、大阪市教育委員会(中央図書館、生涯学習担当)

★内容に関するお問合せ： NPO 法人おおさかこども多文化センター [担当：村上・梨木]

Tel: 06-6586-9477 (13:00~17:00、平日のみ) E-mail: infokodomo@okotac.org



★会場に関するお問合せ： 大阪市立中央図書館 利用サービス担当

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2

Osaka Metro 千日前線・長堀鶴見緑地線 西長堀駅 7号出口すぐ

Tel: 06-6539-3326 <https://www.oml.city.osaka.lg.jp>



外国にルーツをもつ子どもの日本語支援のために――

『絵本で教える にほんご』

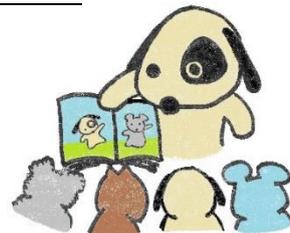
令和5(2023)年7月23日(日) 13:30~16:00

★プログラム(予定)

13:30-14:30 講義

14:30-14:40 休憩

14:40-16:00 ワークショップ (グループに分かれて、実際に絵本を選び、日本語指導における活用方法を考える。質疑応答 など)



★講師: ^の野呂 きくえ さん

東海大学文学部北欧文学科フィンランド語専攻卒業。フィンランド観光局にて、観光案内やサンタクロースの通訳などをおこなう。その後、日本語教師として、日本学術振興会研究員に日本語を教える。

現在は公立の小学校・中学校で、外国につながりのある子どもたちに個別で日本語を指導。子どもたちが楽しく日本語を習得するための副教材開発をおこなっている。著書に、絵本『ランカ にほんにやってきたおんなのこ』(偕成社)、『絵本で教えるにほんご』(スリーエーネットワーク)。



『ランカ にほんにやってきたおんなのこ』(偕成社)

野呂さんからのメッセージ:

ちがう国から来たら、慣れない言葉で、ときどき気持ちがうまく伝わらなくて、悲しくなることもあるでしょう。子どもたちが何度もこの壁にぶつかりながら、成長していくのを見てきました。つらいことがあっても、たった一人でもその子のことを気にかける友だちが教室にいたら、それは大きな支えになると思います。子どもたちがみな、この日本でクラスメイトと一緒に、元気に心も体も大きくなり、明るく平和にすごせるようにと願いながら、日本語指導に力をそそいでいます。

当日 会場では、講師の野呂さんおすすめの絵本を 多数展示しています。
また、中央図書館 1 階では、関連図書展示『いろんなことばのえほん展』も実施予定です (期間: 7月21日(金)から8月16日(水)まで)。

外国につながる子どもたちの支援に関わっておられる皆さまの
たくさんのご参加をお待ちしています!

